

環境防災課

清 掃 係
防 災 係

清 掃 係

1 昆虫駆除実績

(1) 6月 1日～9月30日 各町会へ二兼消毒機の貸し出し

7月21日～8月30日 夏季臨時作業員による側溝公共施設等の消毒作業の実施

対 象	発生源	対 策	散布場所	薬剤使用量	使用薬剤名
か は え そ の 他 衛生害虫	側 溝 空 き 地 公共施設	二兼消毒機 による消毒	市 内 域 全 域	2,302ℓ	油 剤 主成分 ジクロロボス 0.3% フェンクロホス 0.1%

(2) か・はえ等衛生害虫駆除用乳剤(有効成分 オルトジクロロベンゼン 50%)の配布

月 日	曜日	時 間	配 布 場 所	本 数
6月2日	月	9:00～11:30	松 林 会 館 前	109 ^本
		1:30～ 4:00	福生公園(市民会館下)	81
6月3日	火	9:00～11:30	第 六 小 学 校 正 門 前	72
		1:30～ 4:00	親 和 会 館 前	61
6月4日	水	9:00～11:30	第 七 小 学 校 正 門 前	69
		1:30～ 4:00	福 東 会 館 前	51
6月5日	木	9:00～11:30	第 四 小 学 校 正 門 前	142
		1:30～ 4:00	中 福 生 会 館 前	59
6月6日	金	9:00～11:30	第 二 小 学 校 正 門 前	103
		1:30～ 4:00	熊 牛 会 館 前	73
合 計			10 箇 所	820

市役所窓口配布 4月1日～3月31日 500本

2 じん芥

(1) 委託契約業者

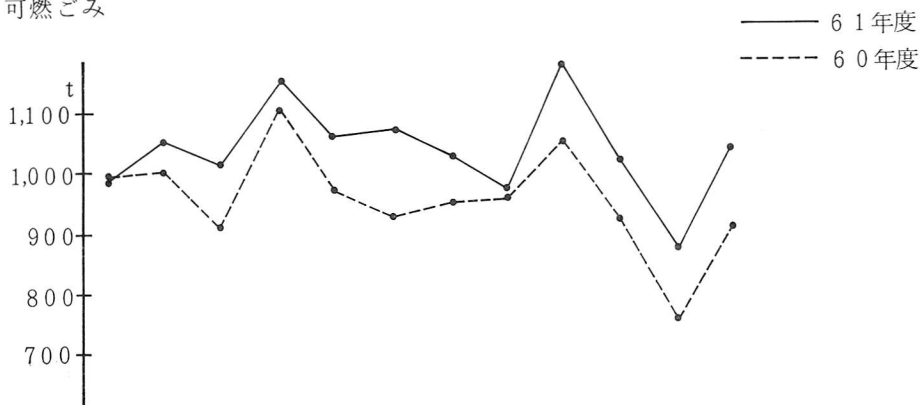
会社名	所在地	代表者	業種
川鍋商事(株)	昭島市宮沢町515	川鍋 実	可燃物収集運搬
福生産業(有)	福生市大字福生210-2	瀬古 昭次	可燃物収集運搬
中央産業(有)	秋川市草花153	田辺 功	不燃物収集運搬
佐々木企業(有)	福生市大字福生2466	佐々木龍雄	不燃物中間処理

(2) じん芥収集実績内訳

区分	収集量	構成比
可燃ごみ	12,444.91 t	79 %
不燃ごみ	2,798.16	18
粗大ごみ	474.60	3
合計	15,717.67	100

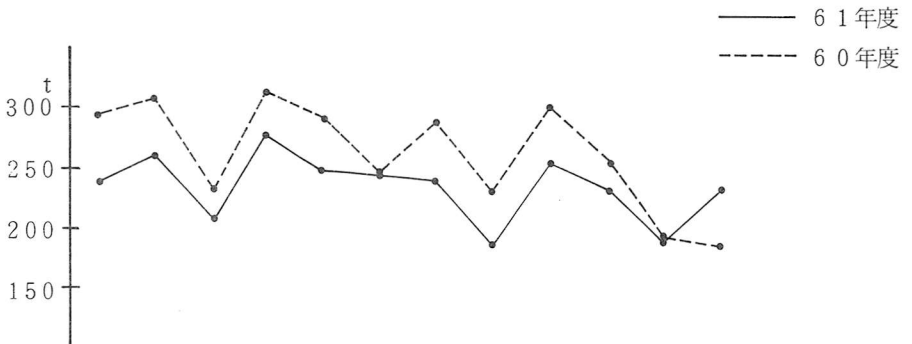
(3) じん芥等月別収集

ア 可燃ごみ



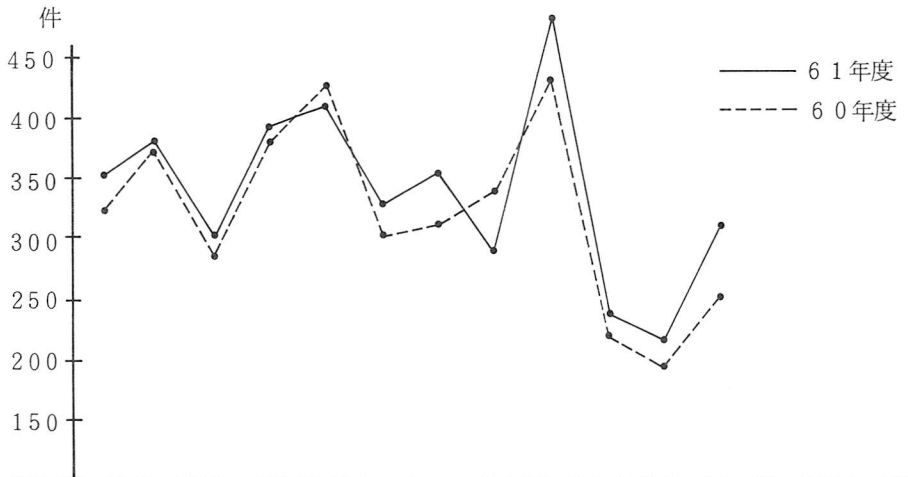
区分	月												合計	月平均
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3		
収集量	30t 985.	61 1,044.	45 1,014.	59 1,150.	37 1,064.	70 1,070.	14 1,029.	06 971.	57 1,182.	83 1,019.	83 875.	46 1,036.	12,444.91	1,037.08
収集日数	25 日	25	25	27	26	24	26	23	26	23	23	25	298	25

イ 不燃ごみ



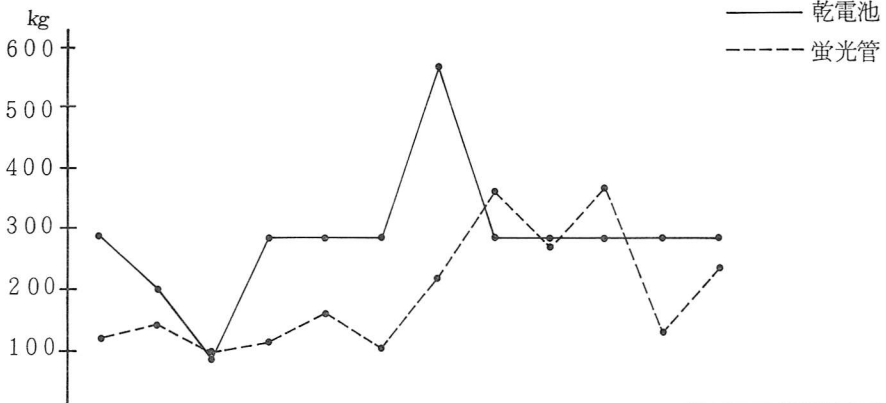
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年	1	2	3	合計	月平均
収集量	t	71 234.	04 264.	42 208.	95 273.	63 247.	72 241.	70 236.	92 188.	00 251.	47 230.	32 188.	28 232.	2,798.16	233.18	
収集日数	日	13	13	12	15	12	12	14	12	14	11	11	13	152	13	

ウ 粗大ごみ



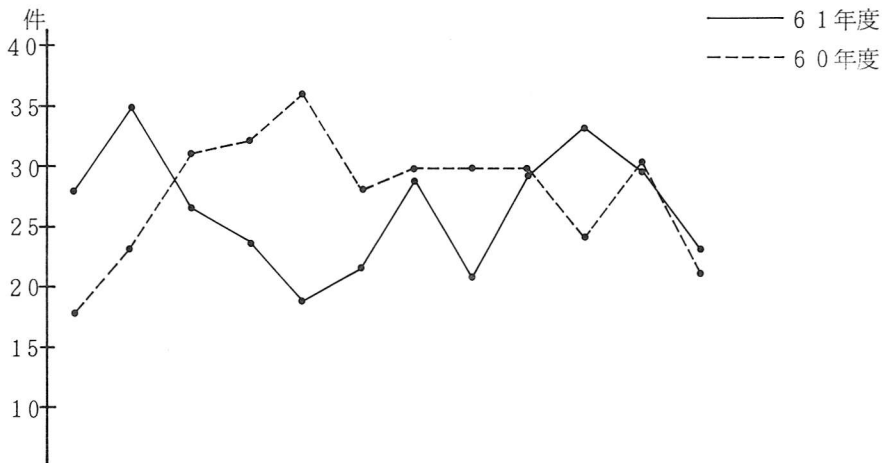
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年	1	2	3	合計	月平均
処理件数	件	352	381	302	391	410	327	351	292	484	232	215	313	4,050	338	
内訳	有料	313	334	260	346	376	284	318	265	442	202	182	287	3,609	301	
	無料	39	47	42	45	34	43	33	27	42	30	33	26	441	37	

エ 有害ごみ



区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3	合 計	月平均
乾 電 池	280 ^{kg}	200	80	280	280	280	560	280	280	280	280	280	3,360	280
蛍 光 管	120 ^{kg}	140	100	120	160	100	220	360	260	360	120	230	2,290	191
合 計	400 ^{kg}	340	180	400	440	380	780	640	540	640	400	510	5,650	471

オ へい死獣



区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3	合 計	月平均	
処理件数	28 ^件	35	27	24	19	22	29	21	29	33	29	23	319	26	
内 訳	有 料	3 ^件	10	3	4	7	5	10	6	9	9	4	7	77	6
	無 料	25 ^件	25	24	20	12	17	19	15	20	24	25	16	242	20

(4) じん芥処理内容

区 分	処 理 量	構 成 比
焼却（西多摩衛生組合）	1 2,9 3 5.4 7 ^t	7 9 %
埋立（不燃物終末処分）	1,5 4 6.7 8	9
再 生 利 用	1,4 3 7.2 8	9
その他（粗大ごみ焼却炉焼却）	4 5 7.1 1	3
合 計	1 6,3 7 6.6 4	1 0 0

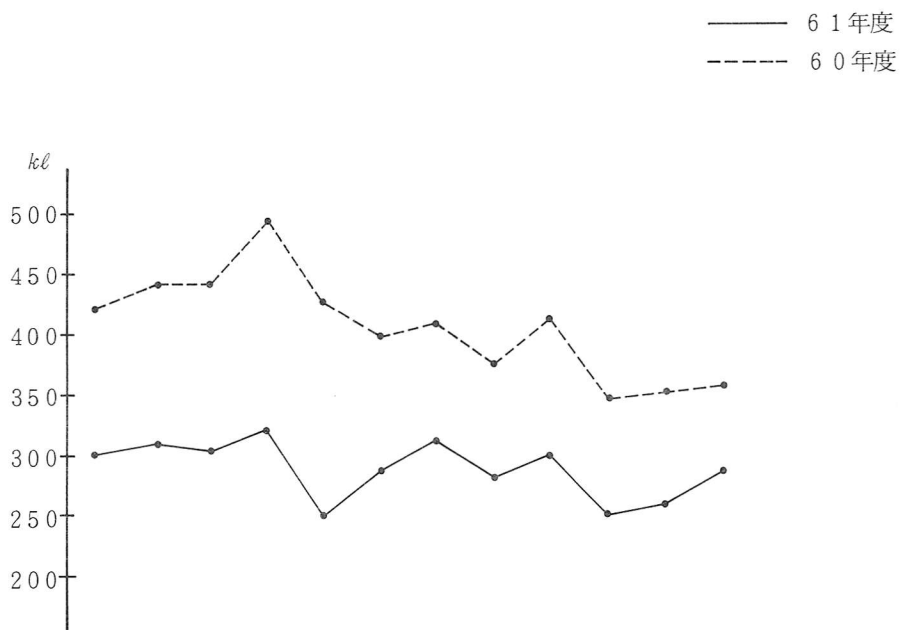
3 し 尿

(1) 委託契約業者

会 社 名	所 在 地	代 表 者	業 種
福 生 産 業(有)	福生市大字福生210-2	瀬 古 昭 次	し尿収集運搬

(2) し尿収集実績

ア 汲取し尿月別収集量

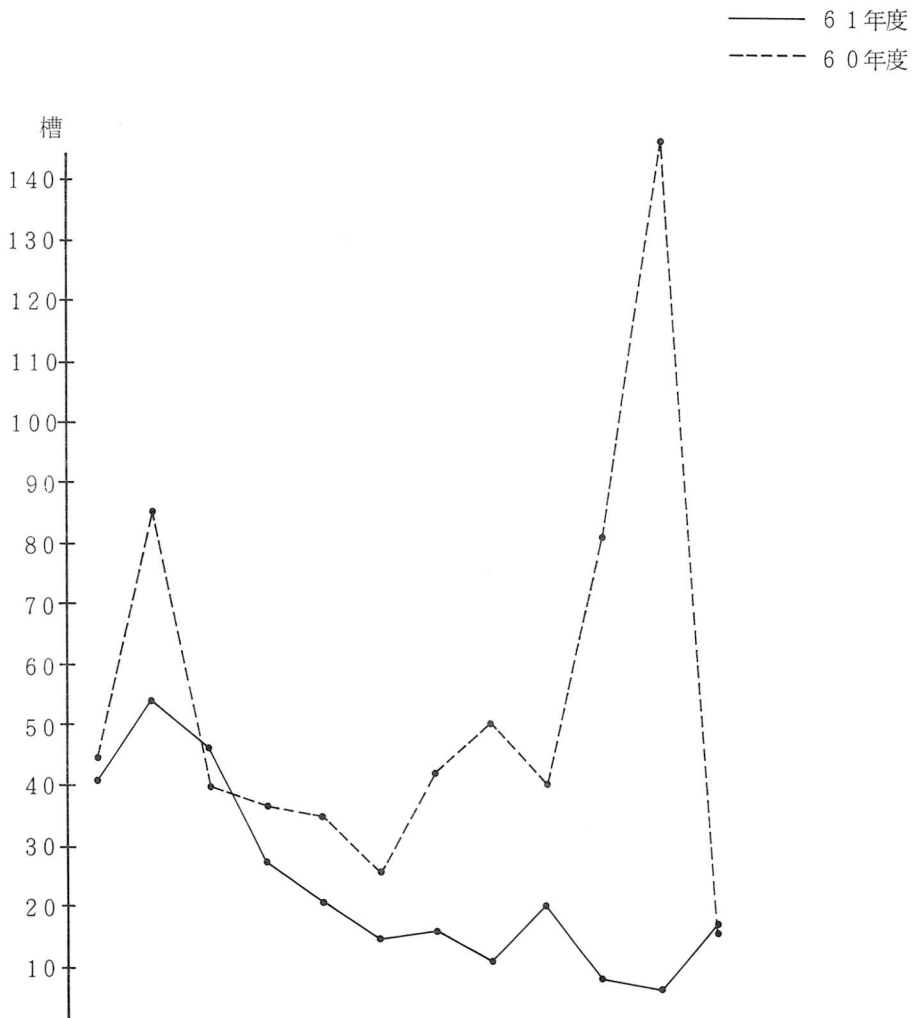


区分	月												合計	月平均
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3		
収集量	304.2 ^{kl}	315.0	306.0	322.2	250.2	289.8	311.4	279.0	300.6	252.0	259.2	286.2	3,475.8	289.7
収集日数	25 ^日	25	25	27	26	24	26	23	26	23	23	25	298	25

イ 汲取し尿及び浄化槽汚泥収集量

区 分	収 集 量	構 成 比
汲 取 し 尿	3,475.8 ^{kl}	63%
浄 化 槽 汚 泥	2,035.1	37
合 計	5,510.9	100

ウ 下水道供用開始に伴う最終汲取実績



区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3	合計	月平均
便槽数		槽	40	54	46	28	21	15	17	11	20	8	6	17	283	24
内 訳	汲取便槽数	槽	35	37	38	24	15	12	13	10	13	7	5	15	224	19
	水洗便槽数	槽	5	17	8	4	6	3	4	1	7	1	1	2	59	5

(市届出分)

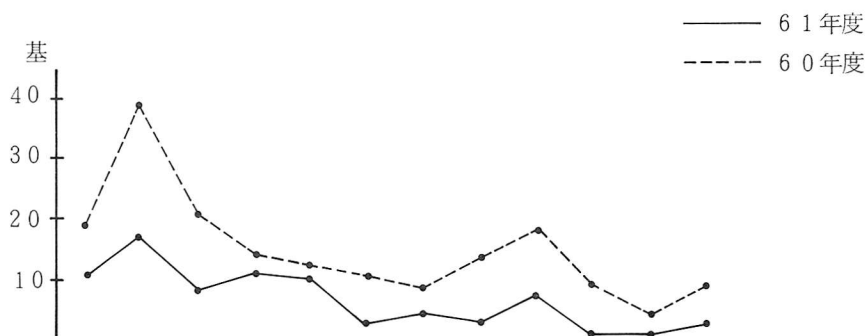
(3) し尿浄化槽清掃料金等軽減措置実績

一般家庭のし尿汲取手数料無料化との不均衡是正措置として、し尿浄化槽清掃料金及び汲取ため水洗便所汲取料金の軽減措置に関する要綱に基づき、次のとおり軽減措置を実施した。

ア 軽減額

区 分	件 数	年 間 軽 減 額
汲取ため水洗便所	32 件	99,200 円
届出浄化槽	44	197,000
合 計	76	296,200

イ 月別軽減件数



区分	月												合計	月平均
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	62年 1	2	3		
実施件数	11	17	8	11	10	2	4	2	7	1	1	2	76	7
内 訳	浄化槽	4	13	3	6	6	2	3	1	3	1	0	44	4
	汲取ため水洗便所	7	4	5	5	4	0	1	1	4	0	1	32	3

4 西多摩衛生組合における処分量

(1) じん芥

区 分	処 分 量	構 成 比
福 生 市	1 2,9 3 5.4 7 ^t	2 4 [%]
青 梅 市	2 5,9 6 0.5 6	4 7
羽 村 町	1 0,7 8 4.8 4	2 0
瑞 穂 町	5.0 1 3.1 7	9
合 計	5 4,6 9 4.0 4	1 0 0

(2) し 尿

区 分	処 理 量	構 成 比
福 生 市	3,4 7 5.8 ^{kl}	1 1 [%]
青 梅 市	1 9,3 5 6.3	6 4
羽 村 町	3,1 0 2.3	1 0
瑞 穂 町	4,6 0 0.8	1 5
合 計	3 0,5 3 5.2	1 0 0

5 福生市不燃物終末処分地における処分量

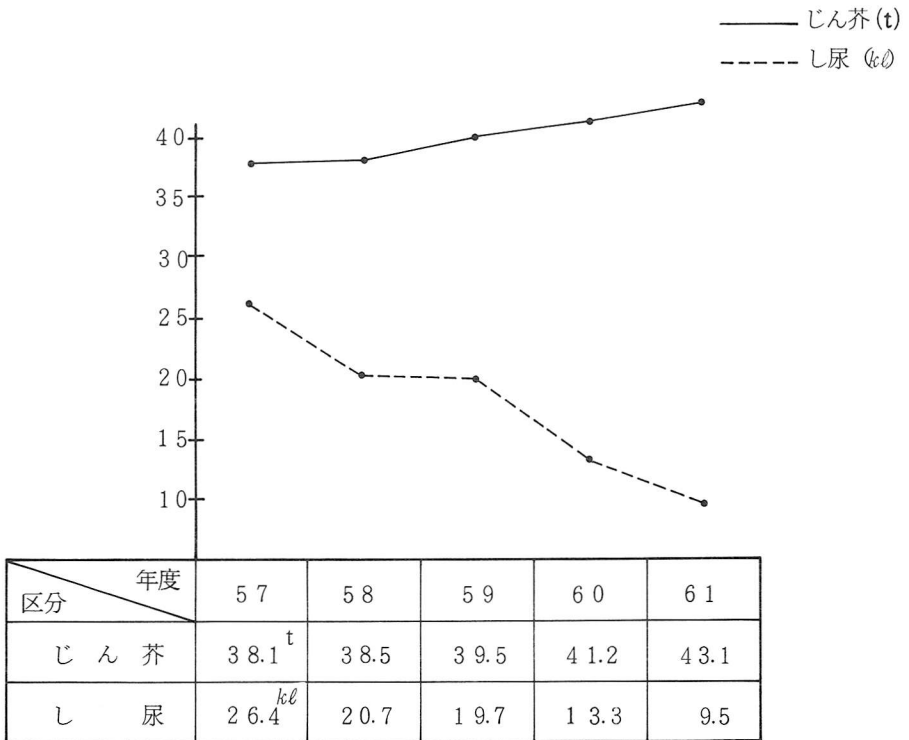
(1) 持込量

区 分	搬 入 量	構 成 比
粗 大 ご み	4 7 4.6 0 ^t	1 4 [%]
不 燃 ご み	2,7 9 8.1 6	8 1
そ の 他	1 6 8.4 1	5
合 計	3,4 4 1.1 7	1 0 0

(2) 処分量

区 分	処 分 量	構 成 比
埋 立	1,546.78 ^t	45 [%]
再 生 利 用	1,437.28	42
そ の 他	457.11	13
合 計	3,441.17	100

6 福生市における年度別 1 日平均排出量



7 ごみ減量運動

(1) ごみ減量推進要綱

ア 目的

市民の協力をもとにごみとして排出される以前に資源として再利用できる有価物を回収し、資源化とごみの減量化を図り、更にごみに対する市民意識を高めることを目的とする。

イ 事業

この運動の目的を達成するために、次のことを行う。

- (ア) 資源再利用の推進に関すること。
- (イ) 資源再利用、ごみ減量の普及、啓発に関すること。
- (ウ) その他資源再利用、ごみ減量に関すること。

ウ 活動状況

項目	実施日	内容
資源回収	昭和61年4月 ～昭和62年3月	実施回数 134回 古紙回収量 392.51t
清掃だより等の PR紙の発行	昭和61年 7月 10月 昭和62年 3月	清掃だより(3回発行) 社会科副読本"ごみのゆくえ"
啓もう用横断幕 の掲示	昭和61年 5月 ～ 7月 昭和61年 9月	市役所前横断歩道橋に "節約がゴミ減量の第一歩" "考えようみんなでなくそう ムダなゴミ" の2本の横断幕を掲示した。

防 災 係

1 防災対策

(1) 防災訓練

日 時 昭和61年8月31日(日)午前10時

場 所 福生市全域

災害対策本部を福生市役所内に設置

ア 第1訓練場所 福生市役所(福生市本町51)

イ 第2訓練場所 福生第一小学校(福生市大字福生1,055)

ウ 第3訓練場所 福生第二小学校(福生市大字熊川623)

参加機関 福生市、福生消防署、福生警察署、福生市消防団、福生交通安全協会
福生支部、福生市町会(自治会)、福生市自主防災組織、福生市医師
会、福生電報電話局、東京電力㈱、武陽ガス㈱、西多摩運送㈱、福生
アマチュア無線クラブ

参加人員	一 般	1,331人
	関係者	321人
	合 計	1,652人

訓練の内容 8月31日午前10時00分、東京地方に震度6の地震が発生し、福生市内においても建物の倒壊をはじめ、道路、橋、ガス、電気、電話等の各施設に相当の被害を受け、火災等も発生したことを想定し本部運営訓練、避難誘導訓練、出火防止訓練と合わせ、各公共機関等の協力のもとに、広報訓練、通信運用訓練、交通規制訓練、初期消火訓練、応急救護訓練、ガス、電気、電話の応急復旧訓練、緊急物資輸送訓練、給水給食訓練等の各訓練を行い、給食訓練については自主防災組織の給食班と福生市職員及び福生市消防団員によるおにぎりの炊き出し訓練も実施した。

訓練の成果 各公共機関等の協力のもとに、それぞれの機関の震災時に対する初動態勢と現場訓練の実施により、有事における各機関との連携及び現場での実践的・活動訓練が図れた。また、各訓練会場では初期消火訓練、

応急救護訓練と給水給食訓練の一環として濾水器による給水訓練、大型炊飯器によるおにぎりの給食訓練を実施し市民の防災意識を高めた。

(2) 自主防災組織の活動

最近における日本海中部地震、長野県西部地震等の大地震による被害は人々の記憶に新しいところであり、東海地震も予想されています。市民一人ひとりが災害に備えて平素から十分な準備をしておくことが大切なことはいうまでもありません。市内全域の自主防災組織は東京消防庁の視察研修を行い知識の普及を図った。また、福生市の総合防災訓練に参加し、本年は新たに給食班による炊き出し訓練を行い成果を上げた。また、市内各自主防災組織に計画的に自主防災倉庫を設置し、資機材を配備し地域ぐるみの防災体制の充実と市民の防災意識の高揚を図った。

(3) 災害対策

ア 福生市防災行政無線システムの整備

台風や地震等の災害はもとより平常時においても、一般行政連絡等を市民の皆さんに的確に情報を伝達するために防災行政無線に移行し無線放送システムの整備を図った。

イ 地域防災倉庫設置及び備品、消耗品の備蓄

市内自主防災組織に地域防災倉庫を設置し消火器、毛布等を配備し、耐震性備蓄倉庫には非常用簡易濾水器、カンパン等の配備を行った。

ウ 起震車体験訓練

人工地震による大地震相当の揺れの中で、地震時の出火防止、初期消火等の行動を体験することにより、市民の防災対応の向上と防災意識の高揚を図ることを目的とし、市内の町会、自主防災組織、事業所、学校等で防災訓練の一環として福生消防署の協力により、初期消火訓練、応急救護訓練等を併せて行った。

ア 運用回数	14回	日曜日	8回
		平日	6回
イ 運用先		町会(自治会)	7
		学校	3
		事業所 他	4
ウ 訓練参加者		延	3,520名

2 消 防

(1) 常備消防（福生消防署）

福生、羽村、瑞穂の一市二町が管轄区域で、本署と出張所2箇所を有し、137名の署員と消防ポンプ車4台、化学車1台、ハシゴ車1台、救急車2台、指揮隊車1台、広報車2台、人員輸送車1台からなる陣容で昼夜の消防活動を実施している。

(2) 非常備消防

市内に5個分団、団員186名と消防ポンプ車5台、指揮車1台からなる福生市消防団の組織があり、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長 — 副団長 — (1人) (4人) 本部付団員 (6人)	第一分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第二分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第三分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第四分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第五分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)

イ 配車車両

分団名	ナンバー	配置車両名	車両購入年月
団本部	多摩88な7452	小型自動車〔バンタイプ〕 (ニッサン)	昭和59年 2月
第一分団	多摩88さ・646	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	昭和61年12月
第二分団	多摩88さ・222	〃 (ヒノ)	昭和60年11月
第三分団	多摩88さ3640	〃 (ヒノ)	昭和52年11月
第四分団	多摩88さ9595	〃 (ヒノ)	昭和59年11月
第五分団	多摩88さ4045	〃 (ヒノ)	昭和53年 7月

ウ 年齢別消防団員数

年齢 団員数	18歳	21歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳
	～20歳	～25歳	～30歳	～35歳	～40歳	～45歳	～50歳
人	人	人	人	人	人	人	人
186	5	37	79	42	20	2	1

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
	人	人	人	人	人	人	人
186	66	74	30	14	1	1	0

オ 消防団火災出動状況

火災発生件数	出動件数	延出動団員数	平均出動団員数	1人平均出動回数
件	件	人	人	回
24	16	1,753	109.6	9.4

カ 警戒等特別出動

警 戒 名	延出勤団員数	出動回数
祭 礼 警 戒	3 3 0 人	6 回
七 夕 警 戒	4 1 3	4
歳 末 警 戒	4 4 8	3
そ の 他 警 戒	6 6	2
合 計	1, 2 5 7	1 5

キ 各種訓練

訓 練 名	延出勤団員数	出動回数
火 災 防 御 訓 練	5 1 5 人	5 回
ポ ン プ 操 法 訓 練	3, 6 1 7	3 4
機 関 教 育 訓 練	2, 0 4 9	8 3
規 律 ・ 礼 式 訓 練	5 7 8	8
教 育 訓 練	2 3 5	1 2
合 計	6, 9 9 4	1 4 2

(3) 消防水利施設

ア 水 利

消 火 栓		計	防 火 水 槽			計	プール
1 5 0 mm 未 満	1 5 0 mm 以 上		2 0 m³ 未 満	2 0 m³以上 4 0 m³未満	4 0 m³以上		
3 3 2	1 2 3	4 5 5	5 2	1 2	1 0 3	1 6 7	1 8

イ 消火栓新設箇所

番 号	新 設 箇 所	口 径	備 考
No. 1	福生市大字熊川1,148	250mm	地下式単口
No. 2	" " 1,315	100	"
No. 3	" 大字福生1,975	150	"
No. 4	" 大字熊川1,443	250	"
No. 5	" " 199	100	"
No. 6	" " 154	"	"
No. 7	" 大字福生1,130	75	"
No. 8	" 加美平 4-1	200	"
No. 9	" 大字熊川 932	100	"
No. 10	" 牛 浜 117	"	"
No. 11	" 加美平3-38	"	"
No. 12	" 志 茂 209	"	"
No. 13	" 大字福生1,715	"	"
No. 14	" 加美平3-36	"	"
No. 15	" 大字熊川1,670	"	"
No. 16	" " 1,661	"	"
No. 17	" " 1,024	75	"
No. 18	" 大字福生1,252	100	"
No. 19	" 加美平 1-5	"	"
No. 20	" 志 茂 229	"	"
No. 21	" " 243	"	"

ウ 防火水槽新設箇所

番号	新 設 箇 所	規 格
No. 1	福生市大字熊川 1,380	40 m ² 級有蓋空地用
No. 2	〃 大字福生 2,148-1	〃
No. 3	〃 武蔵野台 2-14-4	〃
No. 4	〃 大字熊川 1,395-1	〃

(4) 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月別	建 物			車 輛	その他	計	焼 失 面 積	消 防 団 出 動 回 数
	全 焼 件	半 焼 (部分焼 含む) 件	ぼ や 件					
4					3 件	3 件	m ²	3 回
5		1				1	10	2
6		1	2			3	14	2
7						0		0
8			1			1		1
9			3			3		2
10						0		0
11			1	1		2		1
12						0		1
62年 1			1			1		0
2	1				4	5	64	1
3			2		3	5		3
合 計	1	2	10	1	10	24	88	16

イ 原因別火災発生件数

原因	たばこ	火遊び	ガステーブル	焼却火	その他	合計
件数	4件	3件	3件	3件	11件	24件

3 防犯活動

市では、福生警察署及び福生防犯協会を中心として、次のとおり防犯活動を実施した。

ア 各種犯罪防止活動

- 防犯広報、資料等の作成配布

イ 青少年健全育成活動

- 第14回東京少年柔剣道錬成大会
昭和61年7月25日
- 第38回福生警察署管内少年野球大会
昭和61年8月21日 福生市営野球場
(優勝 瑞穂中 準優勝 羽村三中)
- 第八方面区内少年剣道錬成大会
昭和61年9月14日

ウ 夏の防犯運動

昭和61年7月15日から7月21日まで

- 防犯PR広報紙の掲載 懸垂幕の掲出
- 婦人防犯指導員による駅前駐輪対策の実施

エ 全国防犯運動

昭和61年10月11日から10月20日まで

- 防犯PR広報紙の掲載 懸垂幕の掲出

○防犯のつどいの実施

昭和61年10月17日 瑞穂町民会館

○婦人防犯指導員による駅前駐輪対策の実施

カ 婦人防犯指導員研修

昭和62年2月20日(金) 警視庁、NHK放送センター

キ 昭和61年度福生警察署管内防犯協会定期総会

昭和61年6月5日 福生市商工会館3階ホール

4 交通安全対策

市では、福生市交通安全対策協議会において決定した運動方針に基づき、“やさしさと思いやりのある運転を”をメインスローガンに掲げ、福生警察署及び福生交通安全協会等の協力により、次のとおり交通安全対策を実施した。

(1) 交通安全運動

ア 春の交通安全運動

昭和61年4月6日から4月15日まで

○市内小学校新入学児童にランドセルカバーを配布

○'86春の交通安全の集い

昭和61年4月5日 市民会館大ホール

第1部 式典、第2部 歌謡ショー

○横断幕、黄色小旗等の掲出

○広報車による交通安全呼びかけ巡回及び街頭指導等

○運転車講習会

昭和61年3月27、28日 市民会館小ホール

イ 秋の交通安全運動

昭和61年9月21日から9月30日まで

○運転者講習会

昭和61年9月18、19日 市民会館小ホール

○シートベルト着用推進運動に伴う街頭指導及び市内巡回広報

- 広報車による交通安全呼びかけ巡回及び街頭指導等
- 市内広報無線による交通安全の啓もう
- 横断幕、黄色小旗の掲出
- ウ 交通安全対策会議
 - 福生市交通安全対策協議会 2回
春・秋の交通安全運動要領、福生市交通安全計画（昭和61年度～65年度）の策定
 - 福生市交通安全対策協議会幹事会 3回
春・秋の交通安全運動要領（案）、福生市交通安全計画（昭和61年度～65年度）（案）の検討
 - 福生警察署管内交通安全対策連合会会議 4回
- エ 福生市交通安全計画（昭和61年度～65年度）の策定
 - 交通安全対策基本法第26条により、東京都第四次交通安全計画にそって、福生市交通安全計画（昭和61年度～65年度）を策定

5 自転車対策

(1) 自転車駐車場整備状況

- ア 福生駅西口自転車駐車場

福生駅北西方向	300m
福生市土地開発公社用地	729㎡
収容台数	700台
土地借上	無償
- イ 拝島駅北口自転車駐車場

拝島駅北方向	100m
西武鉄道用地	430㎡
収容台数	400台
土地借上	無償
- ウ 牛浜駅東口自転車駐車場

牛浜駅東口前	0m
--------	----

市用地 270㎡
 収容台数 360台
 土地借上 無償

(2) 駅周辺の自転車整理及び指導状況

社団法人シルバー人材センター福生市高齢者事業団へ委託

実施駅 福生駅東口、西口 4人
 牛浜駅東口、西口 4人
 拝島駅北口 1人

年間整理日数 297日

期間 昭和61年4月1日～昭和62年3月31日
 (日曜日、祝日、年末年始を除く。)

時間 午前6時30分～午前10時00分

(3) 駅前放置自転車の撤去返還状況

回	駅名	撤去台数	返還台数	撤去日
1	福生駅	169台	48台	61.5.14
	拝島駅	130	83	"
	小計	299	131	
2	福生駅	78	19	61.10.22
	牛浜駅	44	14	"
	拝島駅	69	52	"
	東福生駅	46	0	"
	小計	237	85	
3	拝島駅	17	17	61.10.23
	小計	17	17	
4	福生駅	59	24	61.11.13
	拝島駅	49	43	"
	小計	108	67	
合	計	661	300	

(4) 放置自転車処分状況

ア 処分方法

撤去した自転車を2か月を基準として保管し、所有者のないものについて、処分する。

イ 処分台数

61. 5. 12 168台

61. 10. 20 80台

合計 248台

6 行政事務連絡員

市からの委嘱により、次のような各種行事への協力をお願いした。

- (1) 委嘱者 35名(各地区町会長に委嘱)
(2) 委嘱期間 昭和60年4月1日から昭和62年3月31日まで

主な業務内容

- 行政事務連絡員会議への出席
- 交通安全運動の協力
- 防犯運動の協力
- 市行事への参加及び協力
- ごみ減量推進運動の協力
- 年末年始用紙袋配布協力
- 各種広報等回覧の協力
- 各種募金の協力